

令和6年度事業報告

1 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	6. 4. 24	ハム・ソーセージ 会 館	監事 2名	・ 令和5年度収支決算に関する事項
正・副理事長 打 合 せ 会	同 上	同 上	正・副理事長 4名	・ 任期満了に伴う役員改選の件について ・ 令和6年総会・関連行事の役割分担について ・ 令和6年度常設委員会委員候補者について ・ 決議事項で新規会員加入について ・ 株式会社ベルクミートの補助金詐欺事件に伴う対応について
理 事 会	同 上	同 上	理事 12名 監事 2名	・ 令和5年度事業報告及び決算等について ・ 第85回定時総会提出議案について ・ 令和5年度JAS優良工場決定について ・ 第71回優良従業員表彰被表彰者決定について ・ 会員及び組合員の加入について
正・副理事長 打 合 せ 会	6. 5. 22	ホテルグラン ヴィア広島	正・副理事長 4名	・ 令和6年春の勲章の受章について ・ (一社)日本食肉加工協会及び(一社)食肉科学技術研究所における会員の犯罪行為への対応について ・ 令和6年総会・関連行事の流れについて ・ 役付役員の互選等について ・ 儀礼の簡略化について ・ ネクタイの着用について
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 2名	・ 第85回定時総会の運営について ・ 令和6年春の勲章の受章について ・ 令和6年度常設委員会委員の委嘱について
第85回定時 総会	同 上	同 上	会員 108名 本人出席33名 委任状75名	①令和5年度事業報告の件 ②令和5年度決算書等承認の件 ③令和6年度事業計画報告の件 ④令和6年度収支予算報告の件 ⑤入会基準決定の件 ⑥令和6年度加入金決定の件 ⑦令和6年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑨理事及び監事の任期満了に伴う改選の件

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
役 付 役 員 互 選 理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 2名	・ 役付役員の互選について
正・副理事長 打合せ会	6. 9. 25	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 2名	・ 株式会社ベルクミートの補助金詐欺 事件に伴う対応について
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 2名	・ 人事院勧告に基づく給与規程の改正 について ・ JAS優良工場表彰事業要綱の改正につ いて ・ 令和6年度食品表示懇談会第2回「個別 品目ごとの表示ルール見直し分科会」 及び今後の取組みについて ・ 令和6年度第1回日本農林規格調査会 について
正・副理事長 打 合 せ 会	7. 1. 29	ホテル雅叙園東京	正・副理事長 4名	・ 育児・介護休業等に関する規程の改正 について ・ 株式会社ベルクミートの補助金詐欺 事件に伴う対応について ・ 令和6年秋の勲章の受章について ・ 物流2024年問題への対応について
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 3名	・ 育児・介護休業等に関する規程の改正に ついて ・ 令和6年度食品産業分野の容器包装等 に係る検討会について ・ 令和6年度食品表示懇談会について ・ 令和6年度品質規格委員会、表示検討 専門委員会の開催について
第1回品質規格 委員会・表示 検討専門委員 会 (合同委員会)	7. 1. 31	オンライン開催	品質規格委員 12名	・ 個別義務表示の見直しについて ・ ハム・ソーセージ類公正競争規約施行規則の見 直しについて
加工協会あり 方検討委員会	7. 3. 26	ハム・ソーセージ 会 館	協会・組合 正副理事長7名 、専務理事2名 、科研理事長 、事務方3名	・ 報告事項 ・ 検討の方向性
正・副理事長 打 合 せ 会	同 上	同 上	正・副理事長 4名	・ 役員補選の件について ・ カスタマーハラスメントの基本方針 の策定・公表について ・ (一社)日本食肉加工協会の今後のあ り方検討委員会の創設について
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名	・ 令和7年度予算の基本方針及び大綱に ついて

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
			監事 3名	・令和7年度収支予算について ・ベーコン類 J A S 等の改正について ・（一社）日本食肉加工協会の今後のあり方検討委員会の創設について

2 庶務に関する事項

- (1) 令和6年4月29日、一般社団法人日本食肉加工協会（以下「加工協会」という。）の理事であり一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会専務理事の桑崎俊昭氏が、多年にわたり食品衛生行政に従事し、関係団体の要職にあたり組織の運営と業界の発展に尽力した功績が認められ、厚生労働行政事務功労で「瑞宝小綬賞」の受章の栄に浴された。
- (2) 令和6年11月3日、多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあつて組織の運営と業界の発展に尽力した功績により、日本ハム・ソーセージ工業協同組合（以下「ハム組合」という。）の副理事長である四国物産株式会社会長の守谷 通氏が「旭日小綬章」、ハム組合の理事である日本食品株式会社社長の柿本憲治氏が「旭日双光章」の栄に浴された。
- (3) 令和7年3月10日、「如水会館」（東京都千代田区）にて開催された「第46回食品産業優良企業等表彰」の表彰式において、ハム組合の常務理事である杉本食肉産業株式会社会長の杉本豊繁氏に食品産業部門（経営革新タイプ）の「農林水産大臣賞」が授与された。
- (4) 令和6年5月22日、「ホテルグランヴィア広島」において第85回定時総会が開催され、任期満了に伴う役員改選が行われた結果、次の通り理事18名、監事3名が選出された。

理 事：内 田 達 也（再任）、大 金 弘 武（再任）、大 野 高 志（再任）
 木 藤 哲 大（再任）、小 原 健 児（再任）、菊 地 令（再任）
 清 田 浩 徳（再任）、桑 崎 俊 昭（再任）、佐 藤 勇 二（再任）
 塩 島 勉（再任）、瀧 澤 太 郎（再任）、竹 内 裕 嗣（再任）
 竹 田 清（再任）、千 葉 尚 登（再任）、根 岸 晴 夫（再任）
 福 島 保 訓（再任）、堀 内 朗 久（再任）、松 井 陽 樹（再任）

監 事：杉 江 秀 記（再任）、竹 内 淳（再任）、西 島 一 之（再任）

第85回定時総会に引き続き開催の役付役員互選理事会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名、副理事長3名、専務理事1名、常務理事2名、代表監事1名が選任された。

理 事 長：木 藤 哲 大（再任）

副理事長：佐 藤 勇 二（再任）、竹 内 裕 嗣（再任）、千 葉 尚 登（再任）

専務理事：塩 島 勉（再任）

常務理事：瀧澤 太郎（再任）、松井 陽樹（再任）

代表監事：杉江 秀記（再任）

3 会員に関する事項(令和7年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前 期 末 現 在	125名(正会員甲122名、正会員乙0名、特別会員3名)
新 加 入 者	2名(正会員甲 2名)
脱 退 者	5名(正会員甲 5名)
今 期 末 現 在	122名(正会員甲119名、正会員乙0名、特別会員3名)

(注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの

正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの

特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

4 事業の概要

(1) 安全性の確保に関する事業

ア 食品用器具・容器包装ポジティブリスト制度にかかる食肉製品製造事業者向けQ & Aの作成について

令和5年9月に開催した説明会の内容及び会員からの質問をまとめ、厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課に確認を行い、令和6年6月にQ & Aを完成させて会員に周知した。

イ HACCPシステムに基づく衛生管理講習会の開催

会員に対してHACCPシステムについての理解を深め、かつその推進を図るため、「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)(旧講習会名:総合衛生管理製造過程に係る講習会)」を、衛生管理の基礎からHACCPシステムの構築までの知識を習得することを目的として4日間の講習を行った。

開催日	受講者数
令和7年2月25日(火)、26日(水)、27日(木)、28日(金)	23名

ウ 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、消費者庁、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

エ 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ最新情報の提供に努めた。

オ 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア ベーコン類等 J A S の改正について

J A S 法では5年ごとに J A S の見直しを行うこととされ、ベーコン類等7品目（ベーコン類、ハム類、プレスハム、ソーセージ、熟成ハム類、熟成ソーセージ類、熟成ベーコン類）については、加工協会が令和6年2月に農林水産大臣に申請していた改正要望事項は、令和6年7月に J A S 調査会において審議され、改正要望事項全てが承認された。本 J A S 改正は令和7年2月28日付で官報告示され、令和7年4月1日から施行となった。

イ 令和6年度 食品表示懇談会に関する取組みについて

令和6年6月に開催された食品表示懇談会の下部組織にあたる「個別品目ごとの表示ルール見直し分科会」（以下「分科会」という。）において、ハム・ソーセージ類の個別品目のうち、J A S の見直しに併せて「ハム類」及び「ソーセージ」の定義の改正を要望し承認された。また、「チルドハンバーグステーキ」、「チルドミートボール」については、会員のアンケート結果に基づき個別義務表示を廃止し、食品表示基準第3条の横断的義務表示に移行することを要望し承認された。本件については12月に開催された食品表示懇談会に上程されて全て承認され、令和7年3月28日付で食品表示基準が改正された。

ウ ハム・ソーセージ類等の個別品目ごとの表示ルール全体の見直しについて

令和6年8月に消費者庁担当官による説明会をオンラインで開催し、個別表示ルールの見直しの考え方、方向性についてご講演いただいた。これを踏まえて9月に会員に対して個別品目ごとの表示ルール見直しに関するアンケート調査を実施した。

エ 令和6年度品質規格委員会、表示検討専門委員会（第1回 合同委員会）の開催について

食品表示基準のハム・ソーセージ類等の個別義務表示のルール全体の見直しについて、業界としての意見を取りまとめるため、加工協会の品質規格委員及びハム・ソーセージ類公正取引協議会（以下「公取協」という。）の表示検討専門委員を含めた合同委員会を令和7年1月に開催した。委員会では9月に実施したアンケート調査結果を報告するとともに、ハム・ソーセージ類等の個別品目ルールの見直し案について検討した。

オ 食肉製品の基礎セミナー

食肉製品についての基礎知識を学んでいただき、自社製品への理解をより深めて頂くことを目的として営業職の方、お客様相談室のご担当者、新入社員などを対象にしたオンラインセミナーを実施した。

開催日	受講者数
令和6年8月30日（金）	30名

カ 食肉製品の規格と表示に関する研修会の開催について

公取協及び一般社団法人食肉科学技術研究所（以下「食肉科研」という。）と協力し、食品の表示の基本となる食品表示基準に加え、J A S、食品衛生法及びハム・ソ

ーセージ類の表示に関する公正競争規約との関連性について、若手を対象とした「食肉製品の規格と表示に関する研修会」を令和6年9月に実施し、20名が参加した。

キ 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解をより網羅的に深めることを目的として、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学、品質管理及び衛生管理等に関し、5日間の日程で開催した。

製造実習では製造体験だけでなく、製造工程ごとにHACCPの危害分析を行い衛生的な考え方の習得を目的とした内容を取り入れた実習内容で実施した。

開催日	講習形式	受講者数
令和7年1月23日(木)、24日(金)	オンライン講習	28名
令和7年2月5日(水)、6日(木)、7日(金)	対面講習	

ク 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、消費者庁、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

ケ 品質等管理優良事例の表彰

財務状況の厳しさに鑑み、品質規格委員会において「JAS優良工場表彰事業要綱」(以下、「要綱」という。)の改正案を提案し、4月24日付で承認された。令和6年度の表彰対象から改正後の要綱に基づき表彰することとした。

令和5年度の表彰対象は従前の要綱に従い、JAS認証事業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位9工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、表彰状及び記念品を贈呈した。

コ 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、ハム組合及び公取協の協力を得ながら次の事業を実施した。

ア 小冊子の作成及び配布

見開きA4サイズカラー36ページの小冊子「ハムソーセージベーコン図鑑」を4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

イ 催事への協賛・協力

令和7年3月11日～14日に開催された「第49回食肉産業展2025」に出展し、パネルの展示、書籍の展示、冊子の配布等を行った。

ウ 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した

「日本食肉加工情報」を毎月１回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(４) 経営の改善等に関する事業

ア ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

令和６年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合及び食肉科研と連携して実技試験の実施に協力した。令和７年２月１日、２日に実技試験が行われた結果、１級４５名、２級４２名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ 環境自主行動計画について

環境自主行動計画について、２０３０年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和６年度フォローアップ調査（令和５年度実績）を実施し、その調査結果を令和６年１１月２０日に農林水産省へ報告するとともに、令和７年２月１９日にハム組合ホームページに掲載した。

(５) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、ＪＡＳ法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に關係資料を送付、周知を図った。

(６) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、ハム組合と合同して、３０年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、２０年以上の勤続者には表彰状を贈呈した。

被表彰者	３０年以上勤続者	株式会社楯岡ハム	横尾 裕子 氏	他全４３名
	２０年以上勤続者	信州ハム株式会社	安藤 直樹 氏	他全２０名

(７) その他

ア 令和７年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 ４件